平林金属
えこ便

四ヵ所の利用者数は六万人超
えこ便女子の活躍で利用増に

えこ便は平林金属が展開する有人式のポイント制資源集積システムで、現在は四ヵ所（岡山三ヵ所・鳥取一ヵ所）で展開している。家庭で不用になった資源物を会員が局に持ち寄り、適正なリサイクルルートに乗せ、同社が再資源化を行う。

えこ便のメリット

会員のメリットは、営業時間内であればいつでも出すことができ、重量に比例してポイントが付与され、ポイントを貯めると様々な商品と交換することができる。また金属類や小型家電を持ち込む所は限られているので、地域住民に重宝されている。営業時間は、平日が朝九時から十九時、土日祝日は朝九時から十七時まで。週一回～二回、定休日を設けている。

品目とポイント

えこ便で回収している再生資源は、古紙・金属類・空き缶・小型家電・パソコン・携帯電話・古着が主な品目。えこ便四店舗での回収量は月間六百トン強。そのうち四百トン（六五％～六九％）を古紙が占めている。次いで金属類と小型家電がそれぞれ九十トン（一五％）、古着が三十トン（五％）。これらの品目別の比率は、四ヵ所ともほぼ同じになるという。オープン時は金属類や小型家電がやや多くなる傾向があるが、徐々にこの比率に近づいてくる。

各品目のポイント付与数は、段ボールがキロ一ポイント、新聞・チラシ・雑誌・雑がみがキロ二ポイント、小型家電と古着もキロ二ポイント、空き缶・金属類がキロ五ポイント、バッテリーがキロ十ポイント、ノートパソコンが一台十ポイント、パソコン本体が一台三十ポイント、携帯電話が一台六十ポイント、アルミ缶がキロ七十ポイント、アルミ・ステンレスがキロ八十ポイント、真鍮がキロ二百ポイント、銅がキロ二百二十ポイントとなっている。

会員登録

初回の持ち込み時に会員カードを作成する。古物営業法と岡山県条例に基づき、初回のみ会員カード作成時に身分証明書の提示を義務付けている。これにより金属類やアルミ缶等にポイント付与することができ、有人式最大の特徴である。

会員カードはサービスカウンターで作成するが、ショーウインドウに商品が陳列してある。これはキヨスクをイメージしてこのような形にしたという。利用者が一目でどのような商品と交換できるか、分かるようになっている。局によってやや商品のラインナップが異なるが、五百ポイントで図書カードやクオカードに交換することができる。ティッシュやトイレットペーパー等の生活必需品も数多くそろえている。

機械端末は㈱ジェネシスとの共同開発によるもの。会員カードはICカードで、カード番号と暗証番号によってサーバーで顧客情報を管理している。

現在の四店舗の会員数は六万三千人を超えている。また、現在でも毎月千人を超える新規会員登録があるという。見学した大安寺局では、一年で七千六百人の新規会員登録があった。平均来場者数は、四店舗で平日は一日千人、土日祝日は一日千五百人。年末には連日二千人を超える。土日や平日の夕方に持ち込みが増える傾向がある。

えこ便は現在四ヵ所を開設。今年中に更に三ヵ所の開設を予定している。新設する三ヵ所は、岡山県倉敷市内に二ヵ所、古紙ヤードがオープンした西大寺工場内に一ヵ所となる。

えこ便を最初にオープンしたのが、二〇一五年七月の西古松局。次いで鳥取県米子市に安倍局が二〇一六年四月にオープン。並木町局が同年十二月にオープン、大安寺局が二〇一七年十二月にオープンした。

最初に開設した西古松局は、岡山市内の中心に立地するということもあって、来店者が殺到。来店者を分離する必要性があり、岡山市内に二ヵ所、順次オープンした。

えこ便・大安寺局の外観

十台の駐車スペースを設置して、混雑を緩和

端末はジェネシスと共同開発

回収した新聞古紙

えこ便・大安寺局では、セルフサービスで計量を行う